

2. 履修について

経済経営学部の皆さんへ

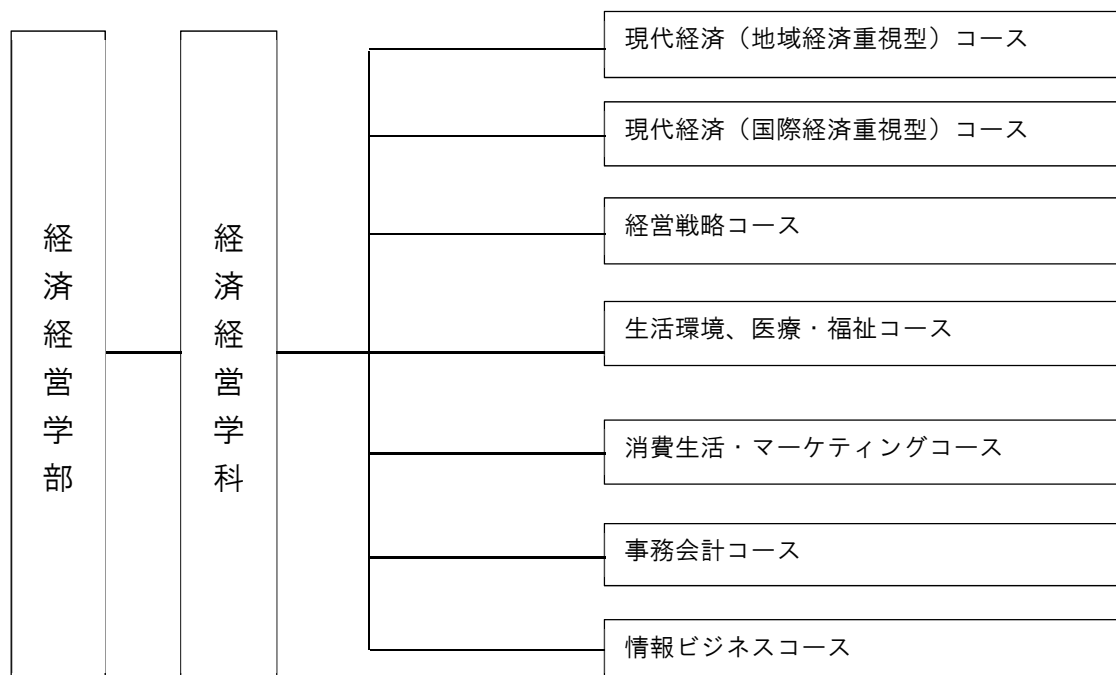
わが国の経済社会を取り巻く環境は大きく変化してまいりました。

高度経済成長期から安定成長に向かう中で、日本の企業は教養豊かな労働力と終身雇用という安定した雇用形態に支えられて発展してきました。しかしながら、近年はグローバル化、ボーダレス化の波にもまれ、企業の組織力よりも、個人の能力が大きく評価されるようになってきております。そのような中で、今学生に求められているものは、幅広い教養と真の実力を備えた専門知識です。それらを評価する基準の一つは資格取得です。本学では多くの資格を得られるようなカリキュラムを構築しております。学習のスケジュールは大きく分けて、1年次・2年次の必修科目を中心に経済・経営・情報に関する幅広い知識を修得し、2年次以降で専門性を追求する仕組みになっております。また、1つの専門分野に固まらないよう、ダブルコース制を採用しています。

専門コースの紹介

毎日の大学生活で「充実感」、能力アップを実感して「達成感」、4年間を振り返って「満足感」を合言葉に、より良い就職や進学が出来るように、次のような特徴を持ったカリキュラムを用意しております。

- 実践で役立つ教育
- 資格重視の教育
- ダブルコースによる幅広い専門知識の修得



現代経済(地域経済重視型)コース

本コースは、経済学の基礎知識を修得するとともに、地域を活性化できる人材を育成することを目的としています。市町村合併が大きくニュースになったことは記憶に新しいですが、地域主権のあり方にスポットが当たる中で、次世代を担う皆さんには、その「地域らしさ」を冷静に見極め、地域活性化のための有効な手立てを打つ力が求められています。本コースを履修することで、経済学の基礎知識、地域経済の知識、地域行政の知識を修得し、地元企業及び地方公共団体等で働く中で、地域振興のために力をふるってもらいたいと願います。

現代経済(地域経済重視型)コースの履修モデル

区分	資格	1年次		2年次		3年次		4年次		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
教養科目	キャリア科目	キャンパスライフ入門<1>	キャリア開発Ⅰ<1>	キャリア開発Ⅱ-1<1>	キャリア開発Ⅱ-2<1>	キャリア開発Ⅲ-1<1>	キャリア開発Ⅲ-2<1>			
	語学科目	TOEIC・実用英語技能検定	英語Ⅰ<2>		英語Ⅱ<2>		英語Ⅲ<2>			
		中国語検定試験 準4級	中国語Ⅰ<2>							
		中国語検定試験 4級			中国語Ⅱ<2>					
		ハングル能力検定5級	韓国語Ⅰ<2>							
		ハングル能力検定4級			韓国語Ⅱ<2>					
		日本語能力検定試験N2	日本語Ⅰ(留学生科目)<2>		日本語Ⅱ(留学生科目)<2>					
	日本語能力検定試験N1					日本語Ⅲ(留学生科目)<2>				
	情報科目	Word文書処理技能検定試験(3級)	コンピュータリテラシー1<1>							
		Excel表計算処理技能検定試験(3級)		コンピュータリテラシー2<1>						
	一般教養科目		哲学<2>							
			世界近現代史<2>	日本近世・近現代史<2>						
			英文学<2>	日本文学<2>						
			法学<2>							
			心理学<2>	社会学<2>	ジェンダー論<2>	家族社会学<2>				
社会科学のための数学<2>					高齢者と社会政策<2>					
体育科目		健康とスポーツ<2>								
特別科目		グローバルスタディ1(韓国)<2>、グローバルスタディ2(中国)<2>、グローバルスタディ3(ゲーム)<2>、グローバルスタディ4(アメリカ)<2>								
		ボランティア論<2>	ボランティア体験(集中)<2>							
		日本事情(留学生科目)<2>								
ゼミナール科目		ゼミナールⅠ後<1>	ゼミナールⅠ前<1>	ゼミナールⅡ<2>		ゼミナールⅢ<2>		ゼミナールⅣ<2>		
専門科目	基礎科目	経済・経営の現場を知る2<2>	経済・経営の現場を知る1<2>							
		ミクロ経済学(2コマ)<4>								
			マクロ経済学(2コマ)<4>							
				都市経済学<2>	地域経済学<2>					
					環境経済学<2>					
		経営学(2コマ)<4>		現代経営<4>						
	特別科目				現場体験プログラム(1)(集中)		インターンシップ(集中)<2>			
					地域活性化プログラム<2>					
					起業家塾(集中)<2>					
	コース推奨科目	経済学検定 EREミクロマクロ	ミクロ経済学(2コマ)(再掲)		ミクロ経済学演習<4>					
				マクロ経済学(2コマ)(再掲)	マクロ経済学演習<4>					
		資格試験対応科目以外の主要な科目				環境経済学(再掲)				
				都市経済学(再掲)	地域経済学(再掲)	地域分析<2>	地域経済論<2>			
					計量経済学<2>	経済政策<2>	地域産業政策<2>			
				地域経営<2>			地方行政<2>			
					日本経済論<2>	世界経済論<2>				
					労働経済学<2>					

注)科目名後ろの<>は単位数を表す。

現代経済(国際経済重視型)コース

グローバル化が進み、インターネットが普及している今日、大企業ばかりでなく地方都市に立地する中小企業でも国際化は避けて通ることはできません。本コースは、今日の国際競争の時代を背景に、世界で活躍できる人材の育成を目的としています。経済学の基礎知識、国際経済関連知識の修得することで、地域企業や商社、外資系企業でおおいに力を発揮してもらいたいと願います。

現代経済(国際経済重視型)コースの履修モデル

区分	資格	1年次		2年次		3年次		4年次		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
教養科目	キャリア科目	キャンパスライフ入門<1>	キャリア開発Ⅰ<1>	キャリア開発Ⅱ-1<1>	キャリア開発Ⅱ-2<1>	キャリア開発Ⅲ-1<1>	キャリア開発Ⅲ-2<1>			
	語学科目	TOEIC・実用英語技能検定	英語Ⅰ<2>		英語Ⅱ<2>		英語Ⅲ<2>			
		中国語検定試験 準4級	中国語Ⅰ<2>							
		中国語検定試験 4級			中国語Ⅱ<2>					
		ハングル能力検定5級	韓国語Ⅰ<2>							
		ハングル能力検定4級			韓国語Ⅱ<2>					
		日本語能力検定試験N2	日本語Ⅰ(留学生科目)<2>		日本語Ⅱ(留学生科目)<2>					
	日本語能力検定試験N1					日本語Ⅲ(留学生科目)<2>				
	情報科目	Word文書処理技能検定試験(3級)	コンピューターテラシー1<1>							
		Excel表計算処理技能検定試験(3級)		コンピューターテラシー2<1>						
	一般教養科目		哲学<2>							
			世界近現代史<2>	日本近世・近現代史<2>						
			英文学<2>	日本文学<2>						
			法学<2>							
			心理学<2>	社会学<2>	ジェンダー論<2>	家族社会学<2>				
		社会科学のための数学<2>			高齢者と社会政策<2>					
体育科目		健康とスポーツ<2>								
特別科目		グローバルスタディ1(韓国)<2>、グローバルスタディ2(中国)<2>、グローバルスタディ3(グアム)<2>、グローバルスタディ4(アメリカ)<2>								
		ポランティア論<2>	ポランティア体験(集中)<2>							
		日本事情(留学生科目)<2>								
ゼミナール科目		ゼミナールⅠ後<1>	ゼミナールⅠ前<1>	ゼミナールⅡ<2>		ゼミナールⅢ<2>		ゼミナールⅣ<2>		
基礎科目		経済・経営の現場を知る2<2>	経済・経営の現場を知る1<2>							
		ミクロ経済学(2コマ)<4>								
			マクロ経済学(2コマ)<4>							
				都市経済学<2>	地域経済学<2>					
					環境経済学<2>					
		経営学(2コマ)<4>		現代経営<4>						
特別科目				現場体験プログラム(1)(集中)		インターンシップ(集中)<2>				
				地域活性化プログラム<2>						
				起業家塾(集中)<2>						
コース推奨科目	経済学検定 EREミクロマクロ	ミクロ経済学(2コマ)(再掲)		ミクロ経済学演習<4>						
			マクロ経済学(2コマ)(再掲)	マクロ経済学演習<4>						
					環境経済学(再掲)	ビジネス英語<4>				
				都市経済学(再掲)	地域経済学(再掲)		時事問題<2>			
						経済政策<2>	地域産業政策<2>			
				地域経営<2>			地方行政<2>			
				金融論<2>	財政学<2>					
				国際経済学<2>	中小企業金融論<2>	日本経済論<2>	世界経済論<2>			
						アジア経済論<2>				

注)科目名後ろの<>は単位数を表す。

経営戦略コース

日本企業は、戦術は優れていても戦略がないといわれてきました。それは、人間の営みを理解していないことが一因であると考えられます。そこで本コースは、現在活躍している企業経営者の哲学や実体験を紹介する企業経営研究、産業や経営に関する歴史などを広く学び、将来経営者として活躍できる人材の育成を目標としています。そして、地域経済にとって、新産業創造はキーポイントの一つではありますが、一人でも多くの起業家の育成をサポートするコースでもあります。

経営戦略コースの履修モデル

区分	資格	1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
キャリア科目		キャンパスライフ入門<1>	キャリア開発Ⅰ<1>	キャリア開発Ⅱ-1<1>	キャリア開発Ⅱ-2<1>	キャリア開発Ⅲ-1<1>	キャリア開発Ⅲ-2<1>		
語学科目	TOEIC・実用英語技能検定	英語Ⅰ<2>		英語Ⅱ<2>		英語Ⅲ<2>			
	中国語検定試験 準4級	中国語Ⅰ<2>							
	中国語検定試験 4級			中国語Ⅱ<2>					
	ハングル能力検定5級	韓国語Ⅰ<2>							
	ハングル能力検定4級			韓国語Ⅱ<2>					
	日本語能力検定試験N2	日本語Ⅰ(留学生科目)<2>		日本語Ⅱ(留学生科目)<2>					
情報科目	Word文書処理技能検定試験(3級)	コンピューターレテラシー1<1>							
	Excel表計算処理技能検定試験(3級)		コンピューターレテラシー2<1>						
一般教養科目		哲学<2>							
		世界近現代史<2>	日本近世・近現代史<2>						
		英文学<2>	日本文学<2>						
		法学<2>							
		心理学<2>	社会学<2>	ジェンダー論<2>	家族社会学<2>				
		社会科学のための数学<2>			高齢者と社会政策<2>				
体育科目		健康とスポーツ<2>							
特別科目		グローバルスタディ1(韓国)<2>、グローバルスタディ2(中国)<2>、グローバルスタディ3(グアム)<2>、グローバルスタディ4(アメリカ)<2>							
		ポランティア論<2>	ポランティア体験(集中)<2>						
		日本事情(留学生科目)<2>							
ゼミナール科目		ゼミナールⅠ後<1>	ゼミナールⅠ前<1>	ゼミナールⅡ<2>		ゼミナールⅢ<2>		ゼミナールⅣ<2>	
基礎科目		経済・経営の現場を知る2<2>	経済・経営の現場を知る1<2>						
		ミクロ経済学(2コマ)<4>							
			マクロ経済学(2コマ)<4>						
				都市経済学<2>	地域経済学<2>				
					環境経済学<2>				
		経営学(2コマ)<4>	現代経営<4>						
特別科目				現場体験プログラム<1>(集中)		インターンシップ(集中)<2>			
				地域活性化プログラム<2>					
				起業家塾(集中)<2>					
コース推奨科目	経営学検定初級(マネジメント検定)	経営学(2コマ)(再掲)		現代経営(再掲)		初級経営学演習<2>			
					マネジメント2<2>				
	経営学検定中級(マネジメント検定)			マネジメント1<2>	マネジメント2(再掲)				
							中級経営学演習<2>		
資格試験対応科目以外の主要な科目			起業家塾(集中)(再掲)	企業経営研究<2>	企業経営史<2>	産業史<2>			
				中小企業金融論<2>	中小企業論<2>				

注)科目名後ろの<>は単位数を表す。

生活環境、医療・福祉コース

持続可能な社会の実現を目指して、世界的に環境意識が高まっています。また、少子高齢化の進行、住環境問題、人の心の問題に関わるニュースもほぼ毎日のように報道されています。そのような現代にあって、さまざまな面で社会的弱者を少しでもサポートできる人材を育成することが本コースの目的です。ボランティア関連科目や高齢化と社会政策、家族社会学などが重要な科目に位置づけられます。それらの学習をすすめることで環境ビジネスや福祉関連分野で活躍できる人材の育成をサポートして行きます。

生活環境、医療・福祉コースの履修モデル

区分	資格	1年次		2年次		3年次		4年次		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
教養科目	キャリア科目	キャンパスライフ入門<1>	キャリア開発Ⅰ<1>	キャリア開発Ⅱ-1<1>	キャリア開発Ⅱ-2<1>	キャリア開発Ⅲ-1<1>	キャリア開発Ⅲ-2<1>			
	語学科目	TOEIC・実用英語技能検定	英語Ⅰ<2>		英語Ⅱ<2>		英語Ⅲ<2>			
		中国語検定試験 準4級	中国語Ⅰ<2>							
		中国語検定試験 4級			中国語Ⅱ<2>					
		ハングル能力検定5級	韓国語Ⅰ<2>							
		ハングル能力検定4級			韓国語Ⅱ<2>					
		日本語能力検定試験N2	日本語Ⅰ(留学生科目)<2>		日本語Ⅱ(留学生科目)<2>					
	日本語能力検定試験N1					日本語Ⅲ(留学生科目)<2>				
	情報科目	Word文書処理技能検定試験(3級)	コンピューターテラシー1<1>							
		Excel表計算処理技能検定試験(3級)		コンピューターテラシー2<1>						
	一般教養科目	哲学<2>								
		世界近現代史<2>	日本近世・近現代史<2>							
英文学<2>		日本文学<2>								
法学<2>										
心理学<2>		社会学<2>	ジェンダー論<2>	家族社会学<2>						
社会科学のための数学<2>				高齢者と社会政策<2>						
体育科目	健康とスポーツ<2>									
特別科目	グローバルスタディ1(韓国)<2>、グローバルスタディ2(中国)<2>、グローバルスタディ3(グアム)<2>、グローバルスタディ4(アメリカ)<2>									
	ボランティア論<2>	ボランティア体験(集中)<2>								
	日本事情(留学生科目)<2>									
ゼミナール科目	ゼミナールⅠ後<1>	ゼミナールⅠ前<1>	ゼミナールⅡ<2>		ゼミナールⅢ<2>		ゼミナールⅣ<2>			
基礎科目	経済・経営の現場を知る2<2>	経済・経営の現場を知る1<2>								
	ミクロ経済学(2コマ)<4>		マクロ経済学(2コマ)<4>							
				都市経済学<2>	地域経済学<2>					
					環境経済学<2>					
	経営学(2コマ)<4>			現代経営<4>						
	特別科目			現場体験プログラム(1)(集中)		インターンシップ(集中)<2>				
			地域活性化プログラム<2>							
			起業家塾(集中)<2>							
専門科目	eco検定(環境社会検定)	環境と社会1<2>	環境と社会2<2>							
	医療事務管理士(医科)					医学概論<2>	保険請求論<2>			
	福祉住環境コーディネーター3級					医療事務演習1<2>	医療事務演習2<2>			
	福祉住環境コーディネーター2級		住環境福祉論演習<2>		住環境福祉論2<2>					
	コース推奨科目	心理学(再掲)	社会学(再掲)	社会福祉概論<2>		地域福祉論<2>				
		社会学(再掲)				社会調査法<2>				
		法学<2>				労働経済学<2>				
						経済政策<2>				
	資格試験対応科目以外の主要な科目	ボランティア論(再掲)	ボランティア体験(集中)(再掲)	ジェンダー論(再掲)	家族社会学(再掲)					
				社会問題と政策<2>			社会調査法演習<2>			

注)科目名後ろの<>は単位数を表す。

消費生活・マーケティングコース

本コースは、消費者と企業の両方の立場から、消費と生活について学びます。消費者の立場からは、人とのふれあいを通じて、安全で計画的な消費生活について考える力、個人のライフスタイルや経済活動をサポートできる力を養成して行きます。また、企業の立場からは、製品開発や販売戦略について企画提案する力を養成して行きます。

このように消費者と企業の両方の視点から学習をすることで、小売業、卸売業、サービス業で活躍できる人材を養成できると考えています。

消費生活・マーケティングコースの履修モデル

区分	資格	1年次		2年次		3年次		4年次		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
教養科目	キャリア科目	キャンパスライフ入門<1>	キャリア開発Ⅰ<1>	キャリア開発Ⅱ-1<1>	キャリア開発Ⅱ-2<1>	キャリア開発Ⅲ-1<1>	キャリア開発Ⅲ-2<1>			
	語学科目	TOEIC・実用英語技能検定	英語Ⅰ<2>		英語Ⅱ<2>		英語Ⅲ<2>			
		中国語検定試験 準4級	中国語Ⅰ<2>							
		中国語検定試験 4級			中国語Ⅱ<2>					
		ハングル能力検定5級	韓国語Ⅰ<2>							
		ハングル能力検定4級			韓国語Ⅱ<2>					
		日本語能力検定試験N2	日本語Ⅰ(留学生科目)<2>		日本語Ⅱ(留学生科目)<2>					
	日本語能力検定試験N1					日本語Ⅲ(留学生科目)<2>				
	情報科目	Word文書処理技能検定試験(3級)	コンピュータリテラシー1<1>							
		Excel表計算処理技能検定試験(3級)		コンピュータリテラシー2<1>						
	一般教養科目		哲学<2>							
			世界近現代史<2>	日本近世・近現代史<2>						
			英文学<2>	日本文学<2>						
			法学<2>							
			心理学<2>	社会学<2>	ジェンダー論<2>	家族社会学<2>				
			社会科学のための数学<2>			高齢者と社会政策<2>				
	体育科目	健康とスポーツ<2>								
	特別科目		グローバルスタディ1(韓国)<2>、グローバルスタディ2(中国)<2>、グローバルスタディ3(グアム)<2>、グローバルスタディ4(アメリカ)<2>							
			ボランティア論<2>	ボランティア体験(集中)<2>						
		日本事情(留学生科目)<2>								
ゼミナール科目	ゼミナールⅠ後<1>	ゼミナールⅠ前<1>	ゼミナールⅡ<2>		ゼミナールⅢ<2>		ゼミナールⅣ<2>			
基礎科目		経済・経営の現場を知る2<2>	経済・経営の現場を知る1<2>							
		ミクロ経済学(2コマ)<4>								
		マクロ経済学(2コマ)<4>								
				都市経済学<2>	地域経済学<2>					
					環境経済学<2>					
		経営学(2コマ)<4>	現代経営<4>							
専門科目	特別科目			現場体験プログラム(1)(集中)	地域活性化プログラム<2>	インターンシップ(集中)<2>				
				起業家塾(集中)<2>						
				マーケティング1<2>						
コース推奨科目	リテールマーケティング(販売士)検定試験3級		マーケティング入門<2>	商品学入門<2>						
			流通論入門<2>	初級販売士演習<2>						
	リテールマーケティング(販売士)検定試験2級	中級販売士演習<2>			販売管理<2>	流通論<2>	マーケティング2<2>			
					ロジスティクス<2>	商品学<2>		販売戦略<2>		
	リテールマーケティング(販売士)検定試験1級	上級販売士演習<2>								
消費生活アドバイザー			生活経済論1<2>	生活経済論2<2>	消費者の法律1<2>	消費者の法律2<2>				
					消費者問題1<2>	消費者問題2<2>				

注)科目名後ろの<>は単位数を表す。

事務会計コース

本コースは、将来的に企業の事務部門を統括できる人材を育成することを目的としています。

事務会計の基本は、経理能力や社内での協調性にあると考えています。

本コースは、日商簿記検定関連科目を中心に科目設定をしていますが、上記事務会計の基本を総合的に身に付けるため、必須科目である経営学、現代経営についても十分に学習してもらい、経営戦略コースや消費生活・マーケティングコースとのダブルコース選択を利用して、知識やスキルを積み重ねてもらいたいと考えています。

事務会計コースの履修モデル

区分	資格	1年次		2年次		3年次		4年次		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
教養科目	キャリア科目	キャンパスライフ入門<1>	キャリア開発 I <1>	キャリア開発 II-1 <1>	キャリア開発 II-2 <1>	キャリア開発 III-1 <1>	キャリア開発 III-2 <1>			
	語学科目	TOEIC・実用英語技能検定	英語 I <2>		英語 II <2>		英語 III <2>			
		中国語検定試験 準4級	中国語 I <2>							
		中国語検定試験 4級			中国語 II <2>					
		ハングル能力検定5級	韓国語 I <2>							
		ハングル能力検定4級			韓国語 II <2>					
		日本語能力検定試験N2	日本語 I (留学生科目)<2>		日本語 II (留学生科目)<2>					
	日本語能力検定試験N1					日本語 III (留学生科目)<2>				
	情報科目	Word文書処理技能検定試験(3級)	コンピュータリテラシー1<1>							
		Excel表計算処理技能検定試験(3級)		コンピュータリテラシー2<1>						
	一般教養科目		哲学<2>							
			世界近現代史<2>	日本近世・近現代史<2>						
			英文学<2>	日本文学<2>						
			法学<2>							
			心理学<2>	社会学<2>	ジェンダー論<2>	家族社会学<2>				
		社会科学のための数学<2>			高齢者と社会政策<2>					
体育科目		健康とスポーツ<2>								
特別科目		グローバルスタディ1(韓国)<2>、グローバルスタディ2(中国)<2>、グローバルスタディ3(グアム)<2>、グローバルスタディ4(アメリカ)<2>								
		ポランティア論<2>	ポランティア体験(集中)<2>							
		日本事情(留学生科目)<2>								
ゼミナール科目		ゼミナール I 後<1>	ゼミナール I 前<1>	ゼミナール II <2>		ゼミナール III <2>		ゼミナール IV <2>		
基礎科目		経済・経営の現場を知る2<2>	経済・経営の現場を知る1<2>							
		ミクロ経済学(2コマ)<4>								
			マクロ経済学(2コマ)<4>							
				都市経済学<2>	地域経済学<2>					
					環境経済学<2>					
		経営学(2コマ)<4>	現代経営<4>							
専門科目	特別科目			現場体験プログラム(1)(集中)		インターシブ(集中)<2>				
				地域活性化プログラム<2>						
				起業家塾(集中)<2>						
コース推奨科目	日商簿記3級	簿記入門1<2>	簿記入門2<2>	初級簿記演習<2>						
	日商簿記2級	中級簿記演習<2>		商業簿記1<2>	商業簿記2<2>					
					工業簿記1<2>	工業簿記2<2>				
	日商簿記1級		上級簿記演習<2>	会計学1<2>	会計学2<2>	原価計算1<2>	原価計算2<2>			
						財務会計1<2>	財務会計2<2>			
						管理会計<2>	経営分析<2>			

注)科目名後ろの<>は単位数を表す。

情報ビジネスコース

ITが普及した現代においては、業種や職種を問わず、基礎的な情報処理能力が求められています。本コースは、企業における様々な場面（企画立案、営業実務、販売管理等）において必要なITスキルを身に付けた人材を育成することを目的としています。

中でも、WordやExcel、PowerPointといったオフィスソフトの知識・スキルは最も基本的なものですが、本コースはそれらの知識を十分に身に付けてもらったうえで、更にインターネット利用能力やWebサイト作成、セキュリティ技術等にも踏み込んで学習して行きます。最終的には、企業内で様々なソフトウェアを組み合わせ、効率よい業務をデザインする力を修得してもらいたいと考えています。

情報ビジネスコースの履修モデル

区分	資格	1年次		2年次		3年次		4年次		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
教養科目	キャリア科目	キャンパスライフ入門<1>	キャリア開発Ⅰ<1>	キャリア開発Ⅱ-1<1>	キャリア開発Ⅱ-2<1>	キャリア開発Ⅲ-1<1>	キャリア開発Ⅲ-2<1>			
	語学科目	TOEIC・実用英語技能検定	英語Ⅰ<2>		英語Ⅱ<2>		英語Ⅲ<2>			
		中国語検定試験 準4級	中国語Ⅰ<2>							
		中国語検定試験 4級			中国語Ⅱ<2>					
		ハングル能力検定5級	韓国語Ⅰ<2>							
		ハングル能力検定4級			韓国語Ⅱ<2>					
		日本語能力検定試験N2	日本語Ⅰ(留学生科目)<2>		日本語Ⅱ(留学生科目)<2>					
	日本語能力検定試験N1					日本語Ⅲ(留学生科目)<2>				
	情報科目	Word文書処理技能検定試験(3級)	コンピュータリテラシー1<1>							
		Excel表計算処理技能検定試験(3級)		コンピュータリテラシー2<1>						
	一般教養科目		哲学<2>							
			世界近現代史<2>	日本近世・近現代史<2>						
			英文学<2>	日本文学<2>						
			法学<2>							
			心理学<2>	社会学<2>	ジェンダー論<2>	家族社会学<2>				
		社会科学のための数学<2>			高齢者と社会政策<2>					
体育科目	健康とスポーツ<2>									
特別科目		グローバルスタディ1(韓国)<2>、グローバルスタディ2(中国)<2>、グローバルスタディ3(グアム)<2>、グローバルスタディ4(アメリカ)<2>								
		ポランティア論<2>	ポランティア体験(集中)<2>							
		日本事情(留学生科目)<2>								
ゼミナル科目		ゼミナルⅠ後<1>	ゼミナルⅠ前<1>	ゼミナルⅡ<2>		ゼミナルⅢ<2>		ゼミナルⅣ<2>		
基礎科目		経済・経営の現場を知る2<2>	経済・経営の現場を知る1<2>							
		ミクロ経済学(2コマ)<4>								
			マクロ経済学(2コマ)<4>							
				都市経済学<2>	地域経済学<2>					
					環境経済学<2>					
		経営学(2コマ)<4>	現代経営<4>							
特別科目				現場体験プログラム<1>(集中)	インターンシップ(集中)<2>					
				地域活性化プログラム<2>						
				起業家塾(集中)<2>						
専門科目	コース推奨科目	Word文書処理技能検定試験(3級)	コンピュータリテラシー1<1> 1(再掲)							
		Word文書処理技能検定試験(2級)			文書処理ソフト利用技術(2コマ)<4>					
		Excel表計算処理技能検定試験(3級)	コンピュータリテラシー2(再掲)							
		Excel表計算処理技能検定試験(2級)			表計算ソフト利用技術(2コマ)<4>					
	PowerPointプレゼンテーション技能認定試験(上級)			プレゼンテーションソフト利用技術<2>						
	ネットマーケティング検定		インターネット概論<2>							
	ドットコムマスター BASIC	ネットワークリテラシー<2>								
	ITパスポート			コンピュータネットワーク1<2>	コンピュータネットワーク2<2>					
			情報システムの基礎1<2>	情報システムの基礎2<2>						
			情報処理の基礎1<2>	情報処理の基礎2<2>						

注)科目名後ろの<>は単位数を表す。

長岡大学 資格対応型専門教育プログラム

本学のカリキュラムは、学生の皆さんが社会に出てからの実生活や仕事において役に立つ知識やスキルを身に付けてもらえるように構成しています。特に、資格対応型専門教育プログラムを通じて、皆さんが各専門資格検定の取得・合格を目指す中で、様々な知識を積み上げてもらえることを期待しています。

大学の授業で学び、各試験対策講座を受講し、資格検定試験に挑戦してください。資格検定試験に合格した場合には、申請により下記の授業科目について単位を認定することができます。

資格検定試験による単位認定

学科	コース	資格	実施団体	単位	該当科目
経済経営	現代経営（地域経済重視型）	経済学検定（E R Eミクロ・マクロ）A判定以上	日本経済学教育協会	4	ミクロ経済学演習、マクロ経済学演習
	現代経営（国際経済重視型）				
	生活環境、医療・福祉	医療事務管理士	技能認定振興協会	6	保険請求論、医学概論、医療事務演習2
		福祉住環境コーディネーター3級	東京商工会議所	2	住環境福祉論1
		福祉住環境コーディネーター2級	東京商工会議所	2	住環境福祉論2
		福祉住環境コーディネーター1級	東京商工会議所	2	地域福祉論
		eco検定	東京商工会議所	2	環境と社会1
	経営戦略	経営学検定（初級）	NPO法人経営能力開発センター 経営学検定試験協議会	4	経営学：4単位、初級経営学演習
		経営学検定（中級）	NPO法人経営能力開発センター 経営学検定試験協議会	8	経営学：4単位、現代経営：4単位 マネジメント2、初級経営学演習、中級経営学演習
	事務会計	日商簿記初級	日本商工会議所	2	簿記入門1
		日商簿記検定3級	日本商工会議所	4	簿記入門1、簿記入門2
		日商簿記検定2級	日本商工会議所	8	商業簿記1、商業簿記2、工業簿記1、工業簿記2
		日商簿記検定1級	日本商工会議所	8	財務会計1、財務会計2、原価計算1、原価計算2
		建設業経理士検定2級	(一財)建設業振興基金	4	商業簿記1、工業簿記1
	消費生活・マーケティング	リテールマーケティング（販売士）3級	日本商工会議所	4	マーケティング入門、商品学入門、流通論入門
		リテールマーケティング（販売士）2級	日本商工会議所	6	マーケティング1、販売戦略、ロジスティクス、商品学、初級販売士演習
		消費生活アドバイザー	(財)日本産業協会	4	消費者問題1、消費者の法律1
		フィナンシャルプランニング技能士3級	社団法人金融財政事情研究会 日本FP協会	2	生活経済論1
		フィナンシャルプランニング技能士2級	社団法人金融財政事情研究会 日本FP協会	4	生活経済論1、生活経済論2
	情報ビジネス	ITパスポート	情報処理推進機構	6	情報処理の基礎1、情報処理の基礎2、情報システムの基礎1、情報システムの基礎2、コンピュータネットワーク1、コンピュータネットワーク2
		Word文書処理技能認定試験3級	サーティファイ	1	コンピュータテラシー1
		Word文書処理技能認定試験2級	サーティファイ	4	文書処理ソフト利用技術
		Excel表計算処理技能認定試験3級	サーティファイ	1	コンピュータテラシー2
		Excel表計算処理技能認定試験2級	サーティファイ	4	表計算ソフト利用技術
		ビジネス文書実務検定3級	全国商業高等学校協会	1	コンピュータテラシー1
		ビジネス文書実務検定2級	全国商業高等学校協会	4	文書処理ソフト利用技術
		情報処理技能検定試験3級	日本情報処理検定協会	1	コンピュータテラシー2
		PowerPointプレゼンテーション技能認定試験上級	サーティファイ	2	プレゼンテーションソフト利用技術
		ネットマーケティング検定	サーティファイ	2	インターネット概論
		ドットコムマスター-BASIC	NTTコムチャオ	2	ネットワークテラシー
	韓国語 *	「ハングル」能力検定試験5級	ハングル能力検定協会	2	韓国語Ⅰ
		「ハングル」能力検定試験4級	ハングル能力検定協会	2	韓国語Ⅱ
	中国語 *	中国語検定試験 準4級	(一財)中国ビジネス交流協会	2	中国語Ⅰ
		中国語検定試験 4級	(一財)中国ビジネス交流協会	2	中国語Ⅱ
	英語 *	実用英語検定2級	財団法人英語検定協会	2	英語Ⅰ
		実用英語検定準1級	財団法人英語検定協会	2	英語Ⅱ
実用英語検定1級		財団法人英語検定協会	2	英語Ⅲ	
TOEFL iBT 61点以上		Educational Testing Service(USA)	2	英語Ⅰ	
TOEFL iBT 76点以上		Educational Testing Service(USA)	2	英語Ⅱ	
TOEFL iBT 88点以上		Educational Testing Service(USA)	2	英語Ⅲ	
TOEIC L&R 600点以上		(財)国際ビジネスコミュニケーション協会	2	英語Ⅰ	
TOEIC L&R 700点以上		(財)国際ビジネスコミュニケーション協会	2	英語Ⅱ	
TOEIC L&R 800点以上		(財)国際ビジネスコミュニケーション協会	2	英語Ⅲ	
工業英語能力検定3級		財団法人工業英語協会	2	英語Ⅰ	
工業英語能力検定2級		財団法人工業英語協会	2	英語Ⅱ	
工業英語能力検定1級		財団法人工業英語協会	2	英語Ⅲ	
日本語		日本語能力検定試験N2	日本国際教育支援協会	4	日本語Ⅰ、日本語Ⅱ
	日本語能力検定試験N1	日本国際教育支援協会	2	日本語Ⅲ	

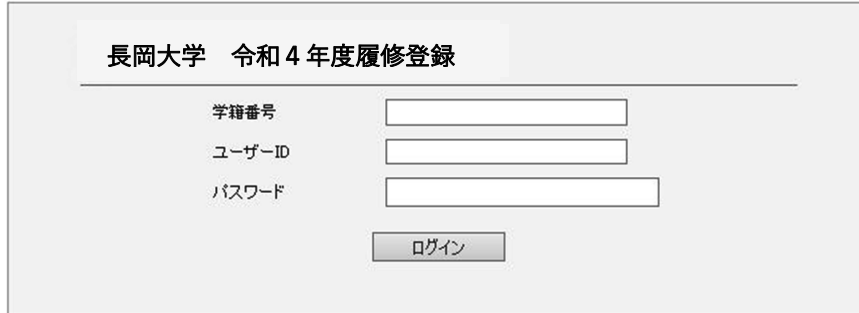
コース名の後ろに*印が付いている資格は全コース共通でもある。

- 1、上記資格を取得した場合、単位認定数の範囲内で該当科目の単位を認定する。
- 2、上記資格を取得しても、現年次が該当科目の配当年次に達していない場合、単位を認定しない。
- 3、上位資格を取得した場合、下位資格の該当科目の単位も認定する。
- 4、配当年次に達していても前期に後期・通年科目の単位認定を申請した場合、後期に単位を認定する。
- 5、在宅受験による資格取得は単位認定しない。(検定試験の種類により認める場合があるので、教務課に確認すること。)

Web履修登録 操作マニュアル

1 ログイン

デスクトップの画面上に、「Web履修登録」のアイコンがありますので、ダブルクリックしてください。ログイン画面が表示されます。



長岡大学 令和4年度履修登録

学籍番号

ユーザーID

パスワード

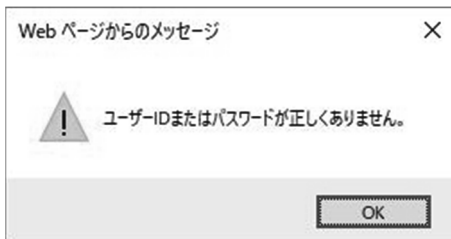
ログイン

学籍番号、ユーザーID、パスワードを入力して [ログイン] ボタンを押すと履修登録画面が表示されま

※ログインの際、大文字・小文字に注意！（ユーザーID：k19XXXのkは小文字）

※履修内容が確定済みの場合はログイン後、履修登録完了画面が開きます。

ユーザーID、パスワードが間違っていた場合は、



というメッセージが表示されますので、もう一度、正しいユーザーID、パスワードを入力してください。

※ 似ている文字に注意！ 0、1（オー、エル）は使っていますがパスワードには、0、1（ゼロ、イチ）は使っていません。

履修登録期限を過ぎている場合は、



というメッセージが表示され、ログインできません。

2 履修登録

ログインした学生の学籍番号、選択コース（2年生以上）、履修科目一覧と授業計画（シラバス）画面が表示されます。「シラバス参照」をクリックして、履修したい授業科目をよく確認してください。

履修登録画面 シラバス参照

履修登録期間は20XX年XX月XX日～20XX年XX月XX日です。
確定登録後印刷用画面が表示されますので画面を印刷し教務課へ提出してください。

学籍番号 19K000

曜日	時限	前期	後期
月	I限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	II限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	III限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	IV限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	V限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	VI限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
火	I限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	II限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	III限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	IV限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	V限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	VI限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
水	I限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	II限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	III限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	IV限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	V限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	VI限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
木	I限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	II限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	III限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	IV限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	V限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	VI限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
金	I限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	II限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	III限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	IV限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	V限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	VI限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
土	I限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	II限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	III限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	IV限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	V限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	VI限	<input type="text"/>	<input type="text"/>

一時保存 ログアウト

確定



（2年生以上は選択コースが表示される）

履修登録画面 シラバス参照

履修登録期間は20XX年XX月XX日～20XX年XX月XX日です。
確定登録後印刷用画面が表示されますので画面を印刷し教務課へ提出してください。

学籍番号 17K000 選択コース

曜日	時限	前期	後期
月	I限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	II限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	III限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	IV限	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	V限	<input type="text"/>	<input type="text"/>

① 選択コースの入力

【2年生】それぞれのカリキュラムに合わせたコースが表示されます。その中から選択してください。

※選択コース1、2は、重複しないようコース選択をしてください。

【3・4年生】2年生で選択したものが表示されています。変更しない場合は選択しないでください。

選択コース

現代経済(地域経済重視型)
現代経済(国際経済重視型)
経営戦略
生活環境・医療・福祉
消費生活・マーケティング
事務会計
情報ビジネス

②履修科目の入力

各曜日、時限で選択可能な授業クラスが表示されますので、その中から選択してください。

※既に履修済の科目は表示されません。

※学年配当に達していない科目は表示されません。

時限	前期
I 限	
II 限	01 健康とスポーツ
	02 ボランティア論
III 限	04 地域活性化論
	06 人的資源管理1
IV 限	

③履修内容の確認

入力が終わったら、履修内容を確認します。

[一時保存] ボタン、[確定] ボタンを押すと履修登録確認画面が表示されます。

一時保存

確認画面を表示して、入力した内容を確定せずに一時的に保存します。

ログアウト

履修登録画面からログアウトします。

確定

確認画面を表示して、入力した内容を確定します。
確定後の修正はできませんので注意してください。

選択コースの入力で、同じコースを選択した場合は、



というメッセージが表示されますので、重複しないよう、選択コースを入力しなおしてください。

- ・週2時限ある科目は、1時限目（早い方）の授業を選択すると、2時限目も自動で選択されます。
- ・通年科目は、前期の授業を選択すると、後期の授業も自動で選択されます。

④履修内容の登録

<一時保存の場合>

履修登録確認画面

学籍番号 18K000 選択コース 経営戦略 事務会計

曜日	時限	前期	後期
月	I限		
	II限	05 地域経営	
	III限	03 商品学入門	04 商品学
	IV限		
	V限		
	VI限		
火	I限	03 文書処理ソフト利用技術A	04 表計算ソフト利用技術A
	II限	03 文書処理ソフト利用技術A	04 表計算ソフト利用技術A
	III限		06 環境経済学
	IV限		
	V限		
	VI限		
水	I限	02 ゼミナルII	02 ゼミナルII
	II限	25 初級販売士演習	29 中小企業金融論
	III限		
	IV限		
	V限		
	VI限		
木	I限	02 企業論	02 企業論
	II限		
	III限		
	IV限	03 都市経済学	04 地域経済学
	V限		
	VI限		
金	I限	03 マーケティング1	02 マーケティング入門
	II限	03 住環境福祉論1	04 住環境福祉論2
	III限	03 英語II A	03 英語II A
	IV限		
	V限		
	VI限		
土	I限		
	II限		
	III限		
	IV限		
	V限		
	VI限		

【履修単位数合計】

科目分類	単位数合計
教養科目	2
ゼミナル科目	2
専門科目	36
合計	40

1年生が1年間に履修できる単位の上限は44単位です。
2年生が1年間に履修できる単位の上限は46単位です。
3,4年生が1年間に履修できる単位の上限は49単位です。
上限以上は履修できません。

上記の内容で確定します。確定後内容の修正は出来ません。
よろしいですか？

履修できる単位の上限を超えて履修登録した場合はメッセージが表示されます。

履修できる単位の上限以内に修正してください。

登録

表示されている内容を一時保存します。

戻る

前画面（履修登録画面）に戻ります。

ログアウト

[登録] ボタンを押すと、履修内容が一時保存され、履修登録完了画面が表示されます。

で登録完了画面からログアウトします。

< 確定の場合 >

履修登録確認画面

学籍番号 18K000 選択コース 経営戦略 専務会計

曜日	時限	前期	後期
月	I限		
	II限	05 地域経営	
	III限	03 商品学入門	04 商品学
	IV限		
	V限		
	VI限		
火	I限	03 文書処理ソフト利用技術A	04 表計算ソフト利用技術A
	II限	03 文書処理ソフト利用技術A	04 表計算ソフト利用技術A
	III限		06 環境経済学
	IV限		
	V限		
	VI限		
水	I限	02 セミナールII	02 セミナールII
	II限	25 初級販売士演習	29 中小企業金融論
	III限		
	IV限		
	V限		
	VI限		
木	I限	02 企業論	02 企業論
	II限		
	III限		
	IV限	03 都市経済学	04 地域経済学
	V限		
	VI限		
金	I限	03 マーケティング1	02 マーケティング入門
	II限	03 住環境福祉論1	04 住環境福祉論2
	III限	03 英語II A	03 英語II A
	IV限		
	V限		
	VI限		
土	I限		
	II限		
	III限		
	IV限		
	V限		
	VI限		

【履修単位数合計】

科目分類	単位数合計
教養科目	2
ゼミナール科目	2
専門科目	36
合計	40

1年生が1年間に履修できる単位の上限は44単位です。
 2年生が1年間に履修できる単位の上限は46単位です。
 3,4年生が1年間に履修できる単位の上限は49単位です。
 上限以上は履修できません。

上記の内容で確定します。確定後内容の修正は出来ません。
 よろしいですか？

登録

[登録] ボタンを押すと、履修内容が確定され、履修登録完了画面が表示されます。

確定後の修正はできませんので注意してください。表示されている内容を確定します。

戻る

前画面（履修登録画面）に戻ります。

⑤履修科目票の印刷

確定後、履修登録完了画面が表示されますので、その画面を印刷し、氏名を書いて教務課へ提出してください。また、確定済みの場合はログイン後、履修登録完了画面が開きますので再印刷も可能です。

下記の内容で確定しました。
 この画面を印刷して、教務課へ提出してください。

学籍番号 18K000 選択コース 経営戦略 専務会計

氏名

曜日	時限	前期	後期
月	I限		
	II限	05 地域経営	
	III限	03 商品学入門	04 商品学
	IV限		
	V限		
	VI限		
火	I限	03 文書処理ソフト利用技術A	04 表計算ソフト利用技術A
	II限		

「登録」ボタンで確定すると、「氏名」を書く欄が表示される。

ログアウト

履修登録完了画面からログアウトします。